

## 【スライドを使用する際の注意事項】

- このスライドは、公認スポーツファーマシスト認定者などのアンチ・ドーピングの知識を身に付けた薬剤師が、薬剤師を対象として「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」の使い方を説明するための資料として、公益社団法人日本薬剤師会アンチ・ドーピング委員会が作成したものです。
- 説明の際には、対象者の手元に「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」（最新版）をご用意いただき、活用してください。
- 使用者によるスライドの加工は制限しませんが、使用者の責任において実施してください。
- 加工したスライドに「公益社団法人日本薬剤師会アンチ・ドーピング委員会」の名称を掲載することはできません（スライドの該当箇所を削除してから使用してください）。スライドを抜粋して使用するだけの場合は、この限りではありません。
- 本資料中のイラストは、  
<https://www.irasutoya.com/p/faq.html>（かわいいフリー素材集いらすとや）を使用しています。

# 「薬剤師のためのアンチ・ドーピング ガイドブック」の使い方事例集

公益社団法人 日本薬剤師会  
アンチ・ドーピング委員会

# 構成

- ◆ 「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」について
  - このガイドブックに書いてあること
  - ガイドブックの使い方
- ◆ 事例
  - 照会が多い事例（咳・喘息①）
  - 照会が多い事例（咳・喘息②）
  - 照会が多い事例（咳・喘息③）
  - 照会が多い事例（高血圧）
  - 照会が多い事例（痛風）
  - 照会が多い事例（糖尿病）
  - 照会が多い事例（点滴）
  - 照会が多い事例（静脈注射）
  - 照会が多い事例（麻酔・補綴剤）
  - 一般用医薬品の相談（頭痛）
  - 一般用医薬品の相談（痔疾）
  - 競技種目の確認
- ◆ 監視プログラム

## このガイドブックの記載内容

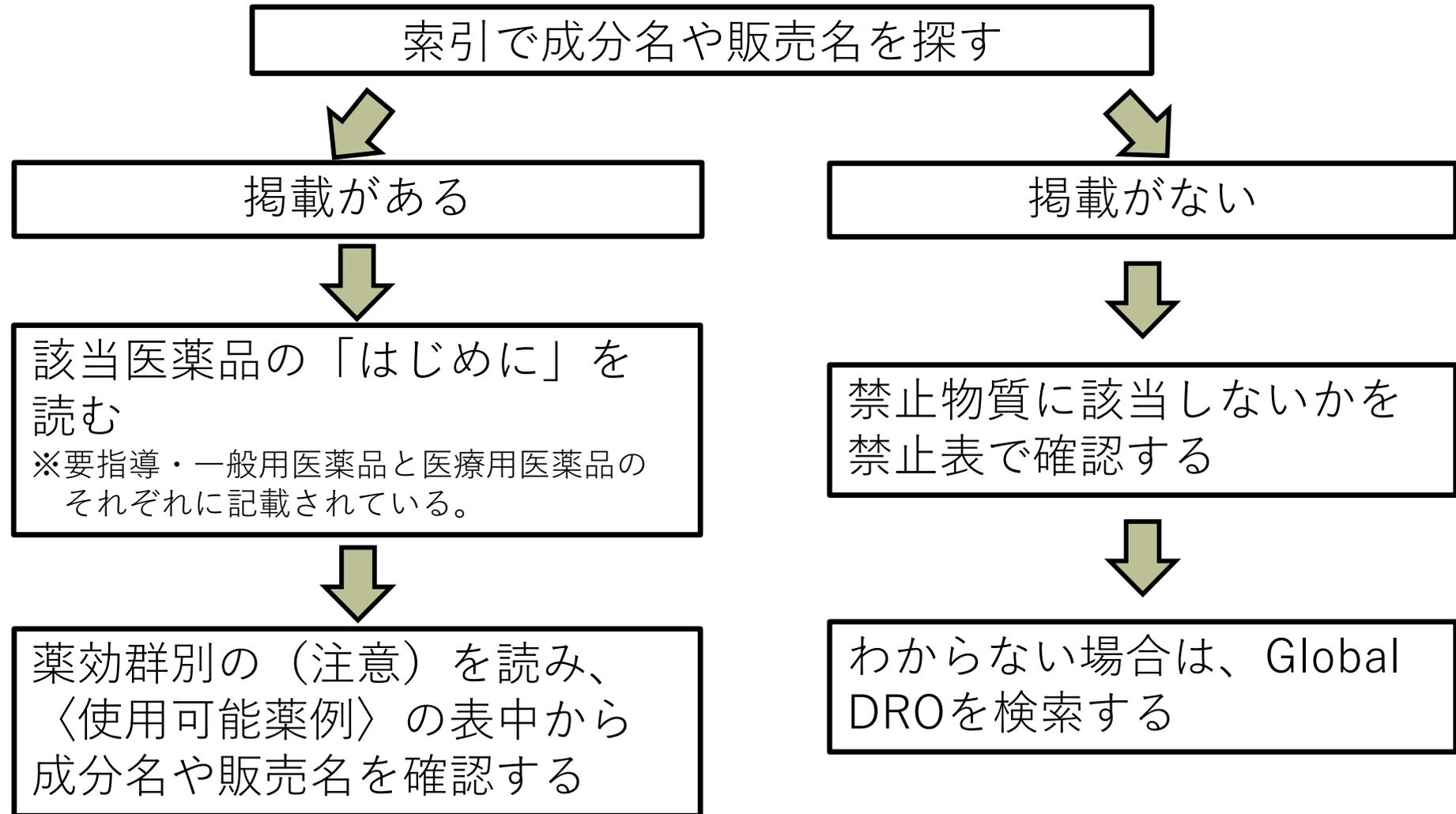
発行年のWADA禁止表と禁止物質を含む医薬品の例などが掲載されている。

ここには**禁止物質を含む医薬品**が掲載されているので、間違えないように注意する。

- WADA禁止表（毎年改訂）掲載のドーピング禁止物質
- 主要な変更の要約と解釈
- 使用可能薬リスト（一般用医薬品 18 薬効群）
- 使用可能薬リスト（医療用医薬品 38 薬効群）
- 薬剤師会アンチ・ドーピングホットライン

薬局店頭に設置しておくと、常時使用できます

# ガイドブックの使い方・医薬品が使用可能か判断するには



## 注意：

掲載してある成分名や販売名は、あくまで一例であり、掲載の有無は使用可能・不可能とは直接関係ない。不明点がある場合、安易な判断はしない。

## 事例 照会が多い事例（咳・喘息①）

夜間、救急外来を受診した患者。

投薬中に「国スポで来ていて明日試合なんです・・・」と言われました。

- 22歳、男性
- 競技：陸上
- 症状：咳

<処方>

アドエア250ディスクス  
メプチンエア－10  $\mu$ g

## あ

アイピーディ.....	54	アタラックス-P .....	54
アイリス CL-I ネオ.....	43	アデカット錠 .....	60
亜鉛華軟膏.....	77	アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物 ....	55
アカルポース.....	66	アデホスコーワ腸溶錠 .....	55
アクアチム.....	75	アドエア .....	53
アクアナチュラル便秘薬.....	38	アドソルビン原末 .....	58, 81
アクトス.....	66	アドナ錠・散 .....	83
アクロマイシン.....	67, 79, 81	アドフィードパップ .....	76
アクロマイシン軟膏.....	75	アトラント .....	76
		アトルバスタチンカルシウム水和物 .....	59
		アドレナリン .....	79

<使用可能薬例（吸入ベータ2作用薬、吸入ベータ2作用薬+吸入糖質コルチコイド、吸入糖質コルチコイド、吸入ベータ2作用薬+吸入糖質コルチコイド+抗コリン薬）>

成分名	代表的な販売名
吸入ベータ2作用薬 サルブタモール硫酸塩	サルタノールインヘラー
サルメテロールキシナホ酸塩	セレベント
ホルモテロールフマル酸塩水和物	オーキシスタービューハイラー
吸入ベータ2作用薬+ 吸入糖質コルチコイド サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾン プロピオン酸エステル	アドエア
ホルモテロールフマル酸塩水和物・ブデソ ニド	シムビコートタービューハイラー
ホルモテロールフマル酸塩水和物・フルチ カゾンプロピオン酸エステル	フルティフォームエアゾール
ビランテロールトリフェニル酢酸塩・フル チカゾンフランカルボン酸エステル	レルベア

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## ベータ2作用薬の禁止物質と医薬品例

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない。

成分名	販売名
アルホルモテロール	—
フェノテロール	ベロテック 他
ホルモテロール	オーキシス(*吸入は例外) 他
ヒゲナミン	生薬：イボツツラフジ、附子、丁子、細辛、南天実、呉茱萸
インダカテロール	オンブレス 他
レボサルブタモール (レバルブテロール)	—
オロダテロール	スピオルト
プロカテロール	メプチン 他
レプロテロール	—
サルブタモール	サルタノール(*吸入は例外)、ベネトリン 他
サルメテロール	セレベント(*吸入は例外) 他
テルブタリン	ブリカニール 他
トレトキノール (トリメトキノール)	イノリン、トスメリアン、OTC:鎮咳薬 他
ツロブテロール	ホクナリン 他*外用薬 (テープ) も含む
ピランテロール	アノーロ(*吸入は例外) 他

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

ベータ2作用薬のうち、以下は除かれます。  
(通常の治療の範囲で使用する場合)

吸入サルブタモール  
吸入ホルモテロール  
吸入サルメテロール  
吸入ビランテロール

(4) 気管支拡張薬・喘息・COPD 治療

(注意)

- ベータ2作用薬は常時禁止物質。(WADA禁薬リスト参照) (ベータ2作用薬)
- 禁止物質「ベータ2作用薬」のうち、吸入サルブタモール (24時間で最大1600 $\mu$ g、いかなる用量から開始しても8時間で600 $\mu$ gを超えない)\*、吸入ホルモテロール (24時間で最大投与量54 $\mu$ g、いかなる用量から開始しても12時間で36 $\mu$ gを超えない)\*、吸入サルメテロール (24時間で最大200 $\mu$ g) および吸入ビランテロール (24時間で最大25 $\mu$ g)\*は禁止されず、TUEも不要。  
尿中サルブタモールが1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが40ng/mLを超える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通してその異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを競技者が

糖質コルチコイドの吸入使用は禁止されません

### 【クリニック医師より】

咳症状が続くため、咳止めの内服もしくは気管支拡張剤のテープ等の処方を考えているが、ドーピングに該当しない薬剤の選定をお願いしたい。

- 20歳代、女性
- 競技：テニス
- 病状：咳症状

#### (4) 鎮咳・去痰薬

##### (注意)

- エフェドリン、麻黄・半夏 (いずれもエフェドリン類を含む)、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン、メトキシフェナミン、トリメトキノールは禁止物質。  
→メトキシフェナミンはWADA 禁止表に名称の記載はないが、類似の化学構造または類似の薬理効果を有するものとして禁止される。
- ナンテンジツ (ヒゲナミンを含む) は常時禁止物質。(WADA 禁止表 S3. ベータ 2 作用薬)
- カフェイン、フェニルプロパノールアミンは 2004 年 1 月 1 日より禁止物質から監視プログラムに変更となり、現在は禁止されないが、検査結果は従来どおり報告される。
- コデインは、2017 年 1 月 1 日より監視プログラムとなったため、検査結果は報告される。  
→鎮咳去痰薬にも監視プログラムが含まれているものがある。

## ベータ2作用薬の禁止物質と医薬品例

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない。

成分名	販売名
アルホルモテロール	—
フェノテロール	ベロテック 他
ホルモテロール	オーキシス(*吸入は例外) 他
ヒゲナミン	生薬：イボツツラフジ、附子、丁子、細辛、南天実、呉茱萸
インダカテロール	オンブレス 他
レボサルブタモール (レバルブテロール)	—
オロダテロール	スピオルト
プロカテロール	メプチン 他
レプロテロール	—
サルブタモール	サルブタモール(*吸入は例外)、ベネトリン
ツロブテロールテープ	他
テルブテロール	ブリカニール 他
トリメトキノール (トリメトキノール)	イノリン、トスメリアン、OTC:鎮咳薬 他
ツロブテロール	ホクナリン 他*外用薬 (テープ) も含む
ピランテロール	アノーロ(*吸入は例外) 他

ツロブテロールテープは禁止物質に該当

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 内服の気管支拡張薬であれば、ベータ2作用薬以外を推奨

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
キサンチン誘導体 アミノフィリン水和物	ネオフィリン原末・錠
テオフィリン	テオドール、ユニフィル LA 錠、テオロング 他
ロイコトリエン拮抗薬 プランルカスト水和物	オノン 他
モンテルカストナトリウム	キプレス、シングレア 他
抗コリン薬（吸入） イプラトロピウム臭化物水和物	アトロベントエロゾル
グリコピロニウム臭化物	シーブリ吸入用カプセル
チオトロピウム臭化物水和物	スピリーバ

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

### 【クリニック医師より】

国スポ出場選手が咳の症状が続き受診している。アストミン錠を処方しようと思うが、禁止物質に該当しないか？

- 18歳、男性
- 競技：陸上
- 症状：咳・痰

<処方>

アストミン錠

F

FAD 点眼液 ..... 74

L

L-アスパラギン酸カリウム..... 42  
L-カルボシステイン..... 35, 36, 51  
L-グルタミン..... 56, 81  
L-ケフレックス..... 67  
L-メントール..... 42, 45, 46, 47

アジルサルタン ..... 61  
アジルバ ..... 61  
アスコルピン酸 ..... 39, 41, 82  
アスコルピン酸散 ..... 39  
アストミン ..... 51  
アズノール ST 錠口腔用 ..... 75, 79  
アズノールうがい液 ..... 75, 79  
アズノール錠 ..... 56  
アスピリン ..... 33, 49, 79  
アスペリン ..... 51  
アズマネックスツイストヘラー ..... 53  
アズレン錠 2mg「ツルハラ」 ..... 56

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
中枢性鎮咳薬 エブラジノン塩酸塩	レスプレレン錠
クロペラスチン塩酸塩	フスタゾール糖衣錠
クロフェダノール塩酸塩	コルドリン
ジメモルファンリン酸塩	アストミン 他
チペピジンヒベンズ酸塩	アスベリン
デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	メジコン散・錠 他
ベンプロペリンリン酸塩	フラベリック錠
去痰薬 L-カルボシステイン	ムコダイン、カルボシステイン錠 他
アンブロキソール塩酸塩	ムコソルバン、ムコサール 他
フドステイン	クリアナール 他
ブロムヘキシン塩酸塩	ビスルボン 他

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 事例 照会が多い事例（高血圧）

今度の国スポメンバーに選出されました。血圧の薬を2種類服用していますが禁止物質は含まれているでしょうか？

- 40歳代、男性
- 競技：ボウリング
- 病状：高血圧症

<処方>

エカード錠LD

アムロジピン錠5mg

## これらのカテゴリーの薬剤は使用可能

### (15) 血圧降下薬

<①Ca拮抗薬、②ACE阻害薬、③アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬、④α遮断薬>

#### (注意)

- 全ての利尿薬は常時禁止物質。(WADA S5. 利尿薬および隠蔽薬)
- ベータ遮断薬は特定競技において禁止。(WADA 禁止表 P1. ベータ遮断薬)  
→ベータ遮断薬は8種目の競技において禁止(アーチェリー、射撃、水中スポーツは常時禁止)。
- Ca拮抗薬、ACE阻害薬、アンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬、クロニジンは使用可能。
- 利尿薬が含有されている高血圧症治療配合剤(イルトラ、エカード、コディオ、プレミネント、ミコンビ 他)も複数発売されているので注意。利尿薬の配合剤も禁止。
- 静脈内注入および/又は静脈注射で、12時間あたり100mgを超える場合は禁止される。但し、入院設備を有する医療機関での治療および手術過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受け

**配合剤には注意!**

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 事例 照会が多い事例（痛風）

毎年国スポに出場する痛風・高尿酸血症の患者。  
痛風の薬はすべて禁止されていますか？

- 52歳、男性
- 競技：剣道
- 疾患名：痛風・高尿酸血症

<処方>

ユリノーム（ベンズブロマロン）

ウラリット配合錠（クエン酸カリウム、クエン酸ナトリウム水和物）

う

うがい薬コロロ SP .....	43	エルペインコーワ .....	34
ウパダシチニブ水和物.....	55	エトトリプタン臭化水素酸塩 .....	50
ウフェナマート.....	76	塩化カリウム .....	42, 43, 57, 74, 79
ウメクリジニウム臭化物.....	53	塩化カルシウム水和物 .....	79
ウラリット配合錠.....	65	塩化ナトリウム .....	42, 43, 57, 74, 79
ウリトス.....	58	塩化マグネシウム .....	79
ウルグートカプセル.....	56, 81	塩酸セルトラリン .....	63
ウルソ.....	59	塩酸メクリジン .....	40
ウルソデオキシコール酸.....	37, 59	塩酸リドカイン .....	40, 47
		塩酸ロペラミド .....	38
		エンパグリフロジン .....	66

ゆ

ユナシン.....	67
ユニフィル LA 錠.....	52
ユニペイン L.....	34
ユベラ.....	82
ユリーフ.....	59
ユリノーム錠.....	65

### (23) 痛風・高尿酸血症治療薬

<①発作治療薬、②尿酸排泄促進薬、③尿酸生成阻害薬、④尿アルカリ化薬>

(注意)

- プロベネシドは常時禁止物質。(WADA 禁止表 S5. 利尿薬および隠蔽薬)
- ベンズブロマロンはプロベネシドと同じ尿酸排泄促進薬に分類されるが使用可能。
- 静脈内注入および/又は静脈注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
① 発作治療薬	
コルヒチン	コルヒチン錠「タカタ」
② 尿酸排泄促進薬	
ベンズブロマロン	ユリノーム錠 他
③ 尿酸生成阻害薬	
アロプリノール	ザイロリック錠 他
フェブキソスタット	フェブリク錠
④ 尿アルカリ化薬	
クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物	ウラリット配合錠 他

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない。

成分名
利尿薬 アセタゾラミド；アミロライド；ブメタニド；カンレノン；クロルタリドン；エタクリン酸；フロセミド；インダパミド；メトラゾン；スピロラクトン；チアジド類 [ベンドロフルメチアジド、クロロチアジド、ヒドロクロロチアジド 等]；トラセミド；トリアムテレン；キシパミド
バプタン類[コニバプタン、モザバプタン、トルバプタン 等]
静脈内投与による血漿増量物質 アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトール
デスマプレシン
プロベネシド

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 痛風の薬が禁止ではなく、プロベネシドが禁止！

プロベネシドは種々の薬物の尿中排泄に影響を与えます。

そのため、フロセミドなどの利尿薬と同様、隠蔽薬とみなされ、

「S5.利尿薬および隠蔽薬」として、常時禁止物質とされています。

# 事例 照会が多い事例（糖尿病）

毎年、国スポに出場する糖尿病の患者。  
糖尿病の薬はすべて禁止されていますか？

- 36歳、男性
- 競技：柔道
- 疾患名：2型糖尿病

<処方>

速効型インスリン

持続型溶解インスリン

#### S4.4. 代謝調節薬

成分名
S4.4.1 AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の活性化薬 [AICAR、ミトコンドリアオープンリーディングフレーム 12S rRNA-c (MOTS-c) 等] ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 $\delta$ (PPAR $\delta$ ) 作動薬 [2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸 (GW1516、GW501516) 等] Rev-erb $\alpha$ 作動薬 (SR9009、SR9011 等)
S4.4.2 インスリン類およびインスリン模倣物質 S519、S597 等
S4.4.3 メルドニウム
S4.4.4 トリメタジジン

#### [禁止される理由]

- ・ アロマターゼ阻害薬、選択的エストロゲン受容体調節薬 (SERMs) 等は、乳癌治療薬、骨粗鬆症治療薬、排卵誘発剤として使われるが、抗エストロゲン作用を有するため禁止。
- ・ ミオスタチン阻害薬は、筋肉の増強を抑制するミオスタチンを阻害することにより、筋力向上等が期待できるため禁止。
- ・ インスリンは筋肉におけるグルコースの利用とアミノ酸の貯蔵を促進し、蛋白の合成を刺激し分解を抑制するため禁止。その他の糖尿病用薬は、インスリン分泌非促進系 (ビッグアナイド薬、チアゾリジン薬、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬、SGLT2 阻害薬) だけでなく、インスリン分泌促進系 (DPP-4 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬、テトラヒドロトリアジン系薬、SU 薬、グリニド薬) は禁止されない。
- ・ トリメタジジンは、心臓代謝の調節薬として禁止される。

## (24) 糖尿病用薬

### (注意)

- インスリンは常時禁止物質。(WADA 禁止表 S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬)
- インスリンを治療目的で使用する場合は、TUE が必要。
- 静脈内注入および/又は静脈注射で、12 時間あたり 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

### <使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
スルホニルウレア系	
グリクロピラミド	デアメリン S 錠
グリベンクラミド	オイグルコン錠 他
グリメピリド	アマリール 他
ビグアナイド系	
メトホルミン塩酸塩	メトグルコ錠、グリコラン錠 他
インスリン抵抗性改善薬	
ピオグリタゾン塩酸塩	アクトス 他
食後過血糖改善薬	
アカルボース	アカルボース 他
ボグリボース	ベイスン 他
ミグリトール	セイブル

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

DPP-4 阻害薬	
アナグリプチン	スイニー錠
アログリプチン安息香酸塩	ネシーナ錠
サキサグリプチン水和物	オングリザ錠
シタグリプチンリン酸塩水和物	グラクティブ錠、ジャヌビア錠
テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物	テネリア錠
ビルダグリプチン	エクア錠
リナグリプチン	トラゼンタ錠
GLP-1 受容体作動薬	
エキセナチド	バイエッタ、ビデュリオン
デュラグルチド	トルリシティ
リキシセナチド	リクスミア
リラグルチド	ビクトーザ
SGLT2 阻害薬	
エンパグリフロジン	ジャディア
カネグリフロジン水和物	カネグル

**注射薬でも、GLP-1受容体作動薬は使用可能**

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

# インスリンの使用はTUE申請が必要！

1型糖尿病および経口糖尿病薬でコントロールできない2型糖尿病の治療ではインスリンが使われます。

その場合は、事前にTUE（治療使用特例）申請が必要になります。

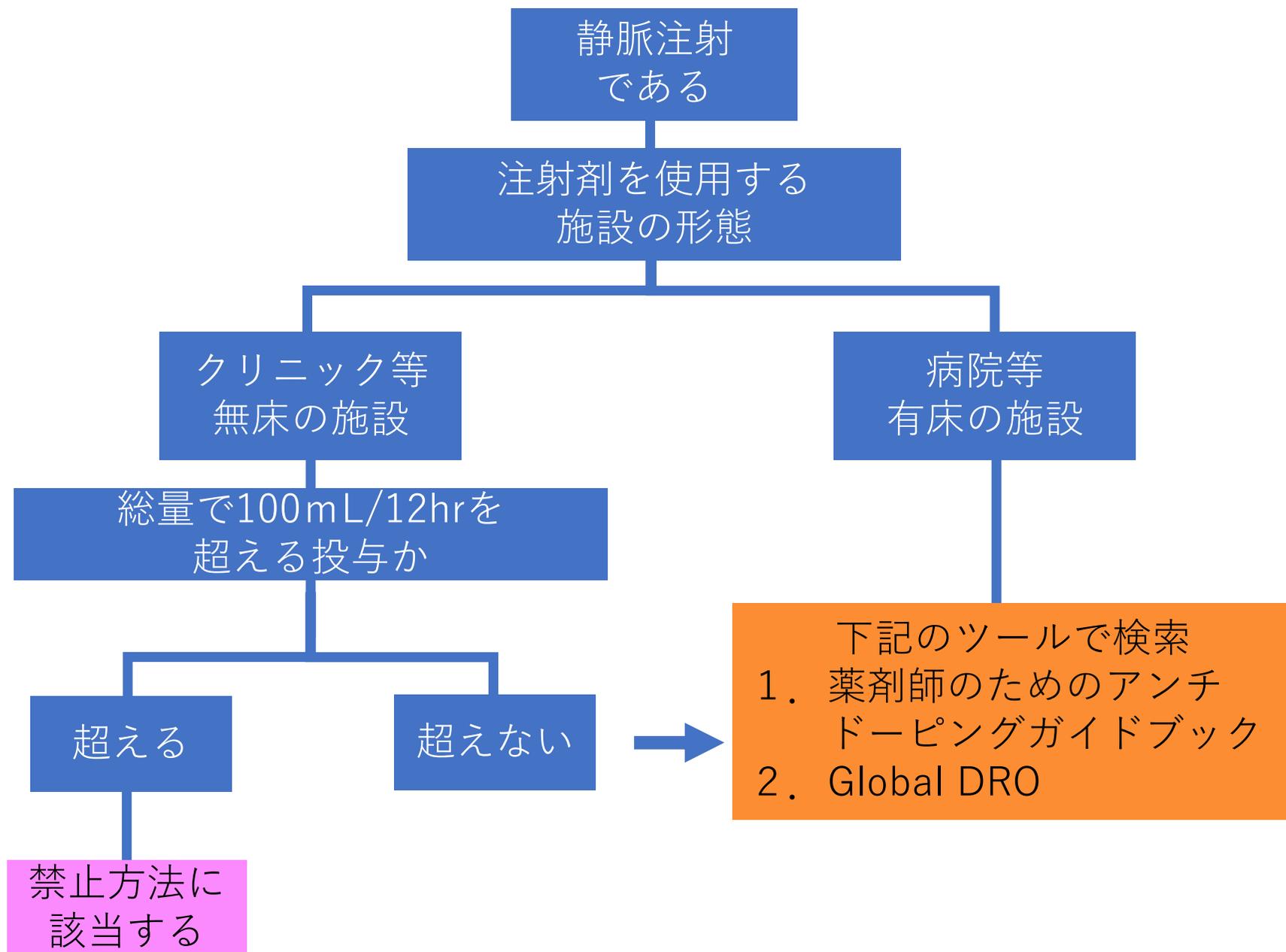
## 事例 照会が多い事例（点滴）

国スポ選手が、熱中症のような症状で競技場近くの医療機関を受診。担当医より、点滴静注してよいか確認あり。

- 総合病院 許可病床数250床
- 10歳代、女性
- 競技：陸上
- 症状：発熱・嘔吐

<処方>

ソリタ-T1輸液500mL



# Global DROでの検索（例：ソリタT1号輸液）

global DRO あなたの薬は禁止されていますか？

ホーム サーチ ヘルプ よくある質問と回答 (FAQS)

ユーザータイプ 競技 購入国 検索

競技の選択

競技者

コーチ

スポーツファーマシスト

医療従事者

保護者

スポーツ関係者

その他

JADA WEBサイト

**JADA** PLAY TRUE  
Japan Anti-Doping Agency

JADAは、ドーピングの無いフェアなスポーツを実現するのみならず、スポーツのコアバリューとスポーツの精神を尊重し、正々堂々と戦うアスリートを守り、真のチャンピオンを育てるための活動を推進しています。

スポーツファーマシスト

**Sports Pharmacist**

薬の確認方法等、Global DROの検索結果についてわからないことがあれば、「JADA公認スポーツファーマシスト」についても相談を！

CONDITIONS & WARNINGS  
are an important part of your search result.

READ THEM

画面は2024年8月のもの

# Global DROでの検索（例：ソリタT1号輸液）

global DRO あなたの薬は禁止されていますか？ 

ホーム サーチ ヘルプ よくある質問と回答 (FAQS)

ユーザータイプ 医療従事者

競技 |

購入国 日本

検索

検索

空道  
自動車  
自転車競技  
航空スポーツ  
車いすカーリング  
車いすテニス  
車いすフェンシング  
車椅子バスケットボール  
軟式野球  
近代五種  
銃剣道  
陸上競技  
馬術

JADA WEBサイト

 **CONDITIONS & WARNINGS**  
are an important part of your search result.

  
**READ THEM**

agency

スポーツファーマシスト  
Sports Pharmacist

薬の確認方法等、Global DROの検索結果についてわからないことがあれば、「JADA公認スポーツファーマシスト」についても相談を！

画面は2024年8月のもの

# Global DROでの検索（例：ソリタT1号輸液）

global DRO あなたの薬は禁止されていますか？ 

ホーム サーチ ヘルプ よくある質問と回答 (FAQS)

ユーザータイプ 競技 購入国 検索

医療従事者 陸上競技 日本

ソリタ

ソリタ T1号輸液

ソリタ T3号G輸液

ソリタ T3号輸液

ソリタ T4号輸液

ソリタ T配合顆粒2号

ソリタックス H輸液

JADA WEBサイト

 **CONDITIONS & WARNINGS**  
are an important part of your search result.  
**READ THEM**

JADA WEBサイト

**JADA** PLAY TRUE  
Japan Anti-Doping Agency

JADAは、ドーピングの無いフェアなスポーツを実現するのみならず、スポーツのコアバリューとスポーツの精神を尊重し、正々堂々と戦うアスリートを守り、真のチャンピオンを育てるための活動を推進しています。

スポーツファーマシスト

 Sports Pharmacist

薬の確認方法等、Global DROの検索結果についてわからないことがあれば、「JADA公認スポーツファーマシスト」にいつでも相談を！

画面は2024年8月のもの

# Global DROでの検索（例：ソリタT1号輸液）

## ソリタ-T1号輸液

WADA禁止表国際基準のステータス

✓  
競技会(時)  
禁止されない

✓  
競技会外  
禁止されない

条件付き/警告



静脈内注入または静脈注射によって医薬品を投与する場合は、次の...にご注意ください：医薬品の物質自体が禁止されていない場合でも、12時間あたり100 mLを超える静脈内注入および/又は静脈注射は禁止方法です。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除きます。続きを読む。詳細。

WADAの分類

分類はありません (N/A)

画面は2024年8月のもの

# 禁止物質を含まなくても、 禁止方法に該当することは禁止！

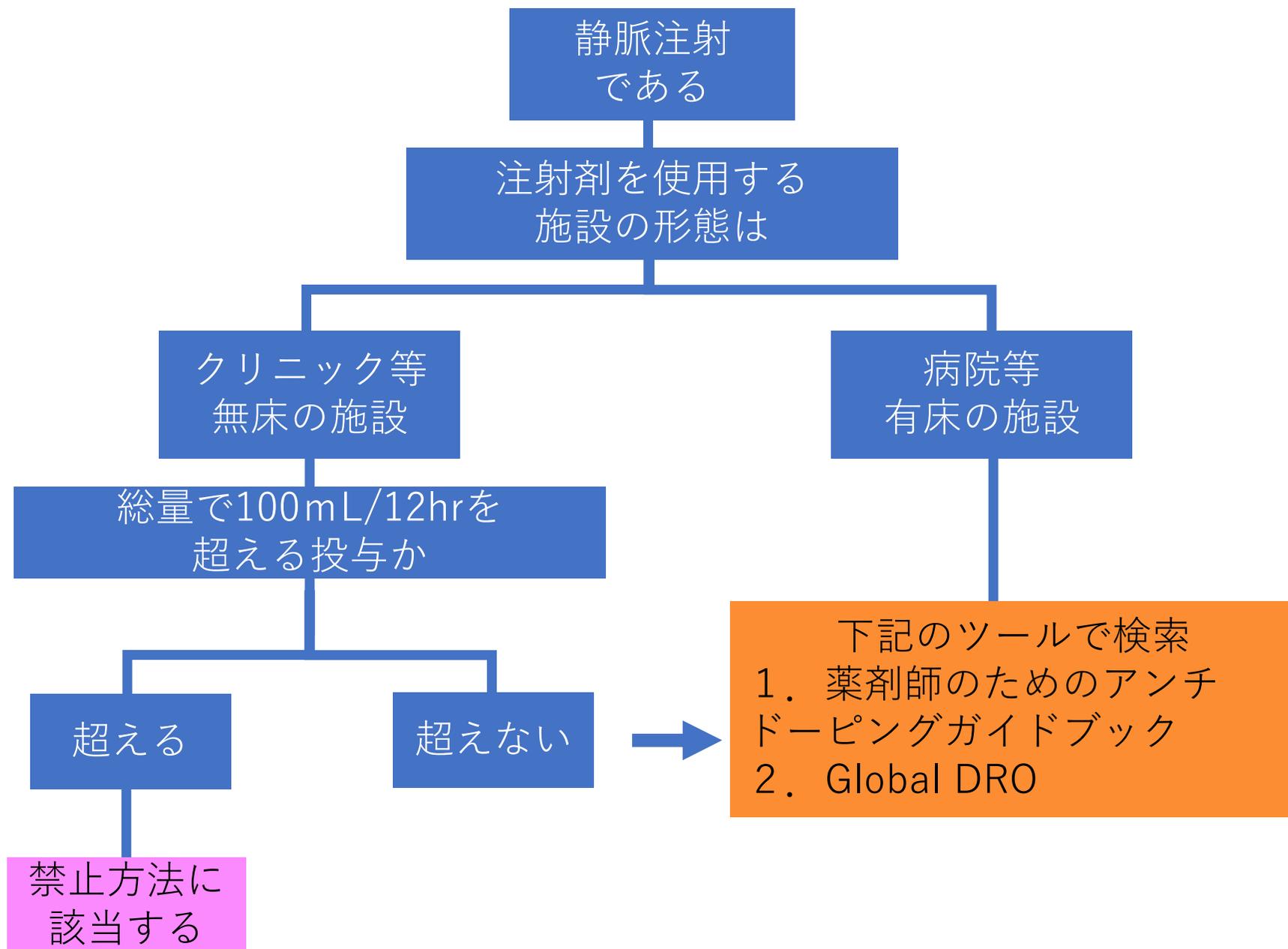
- 禁止物質を含まなくても、静脈内注入および/または静脈内注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止
- 但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

出典：2025年禁止表国際基準

# 事例 照会が多い事例（静脈注射）

国スポ選手が、腹痛を訴え競技場近くの医療機関を受診。医師より、抗生剤の注射が必要と診断される。

- クリニック 無床医療機関
- 10歳代、男性
- 競技：サッカー
- 症状：腹痛



(20)	抗てんかん薬.....	64
(21)	自律神経系作用薬.....	64
(22)	鉄欠乏性貧血薬.....	65
(23)	痛風・高尿酸血症治療薬.....	65
(24)	糖尿病用薬.....	66
(25)	抗菌薬・抗生物質.....	67
(26)	化学療法薬.....	68
(27)	抗真菌薬.....	68
(28)	抗ウイルス薬.....	69
(29)	ワクチン.....	69
(30)	甲状腺疾患治療薬.....	70

(25) 抗菌薬・抗生物質

(注意)

- ほとんどの抗菌薬、抗生物質は使用可能。
- 静脈内注入および／又は静脈注射で、12時間あたり100mLを超える場合は禁止される。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除く。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
ペニシリン系	
アモキシシリン水和物	サワシリン、パセトシン、ワイドシリン細粒 他
アモキシシリン水和物・クラブラン酸カリウム	オーグメンチン配合錠、クラブモックス小児用配合ドライシロップ
アンピシリン水和物	ビクシリンカプセル・ドライシロップ
スルタミシリントシル酸塩水和物	ユナシン
セフェム系	
<u>第一世代</u>	
セファクロル	ケフラル 他
セファレキシン	レケフレックス、ケフレックス、ラリキシン 他
セフロキサジン水和物	オラスポア小児用ドライシロップ
<u>第二世代</u>	
セフロキシム アキセチル	オラセフ錠
<u>第三世代 (セファロスポリン系)</u>	
セフィキシム水和物	セフспан 他
セフカペンピボキシル塩酸塩水和物	フロモックス 他
セフジトレン ピボキシル	メイアクトMS 他
セフジニル	セフゾン 他
セフテラム ピボキシル	トミロン 他
セフポドキシム プロキセチル	バナン 他

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 緊急時は治療を優先！

遡及的申請の場合は、必ず理由を選択する

- 救急治療または急性疾患の治療が必要であった
- 他の例外的な事情のために、検体採取の前に、競技者がTUEの申請を提出するための十分な時間または機会がなかった

# 事例 照会が多い事例（麻酔・補綴（ほてつ）剤）

歯の詰め物がとれてしまい治療をする予定です。処置するのに麻酔をするといわれていますが、詰め物と麻酔を実施しても大丈夫でしょうか？

- 30歳、女性
- 競技：なぎなた
- 症状：無し

<使用薬剤等>

歯科用キシロカイン

クリアフィルDCコア（コンポジットレジン）

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名
① 局所麻酔薬	
アミノ安息香酸エチル	ハリケイン、ビーゾカイン歯科用ゼリー
プロピトカイン塩酸塩・フェリプレシン	歯科用シタネスト-オクタプレシン
メピバカイン塩酸塩	スキャンドネスト
リドカイン・エピネフリン (アドレナリン)	オーラ注歯科用、 <b>歯科用キシロカイン</b> 他
② 吸入麻酔薬	
亜酸化窒素	笑気ガス 他

コンポジットレジン ⇒ 成分はプラスチック

- ここに挙げた薬だけが許可されているわけではありません。一部の例示であり、他にも使える薬は数多くあります。各製品の歯科適応等については、添付文書他で確認して下さい。
  - 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与は禁止されません。(WADA 禁止表 S5. 利尿薬および隠蔽薬)
  - **エピネフリン (アドレナリン) の局所使用 (鼻、眼等) あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されません。(WADA 禁止表 S6. 興奮薬)**
  - 糖質コルチコイドの注射使用、経口使用 [口腔粘膜 (口腔内 (頬)、歯肉内、舌下等) を含む]、経直腸使用はすべて禁止されます。その他の投与経路 (吸入、局所投与を含む: 歯根管、皮膚、鼻腔内、眼 (目薬)、耳 (外用)、肛門周囲) は、製造業者が承認を受けた用量および治療適応内で使用する場合は禁止されません。(WADA 禁止表 S9. 糖質コルチコイド)
    - 糖質コルチコイドは投与形態により申請方法が異なります。注射使用、経口使用 [口腔粘膜 (口腔内 (頬)、歯肉内、舌下等) を含む]、経直腸使用は TUE が必要になります。
- ※2021 年 10 月より競技会時の糖質コルチコイドの口腔内局所使用は禁止さ

歯科用キシロカインにはエピネフリンが含有されているが、禁止されない

薬局店頭で

「国スポに出場する選手です。いつも飲んでいる薬を今日は持ってくるのを忘れました。何か良いものはありませんか」

- 30歳代、男性
- 競技：射撃
- 主な症状：頭痛、肩こり
- いつも飲んでいる薬：OTCの葛根湯

# 漢方薬なら大丈夫だろう？はNG

## 葛根湯の成分

- 葛根
- 麻黄
- 桂枝
- 芍薬
- 生姜
- 大棗
- 甘草

エフェドリン類  
を含んでいます。

~~葛根湯~~  
の製

(1) 解熱鎮痛薬

(注意)

- カフェインは2004年1月1日より禁止物質から監視プログラムに変更となり、現在は禁止されないが、検査結果は従来どおり報告される。

<使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
アスピリン	バイエルアスピリン	佐藤製薬
アスピリン・合成ヒドロタルサイト	バファリンA	ライオン
アセトアミノフェン	タイレノールA	JNTL コンシューマーヘルスケア
	小児用バファリンCII バファリンルナJ	ライオン ライオン
アセトアミノフェン・イブプロフェン	ノーシンアイ頭痛薬	アラクス
アルミノプロフェン	ルミフェン	佐藤製薬
イブプロフェン	イブA錠 リングルアイビーα 200	エスエス製薬 佐藤製薬
イブプロフェン・ブチルスコポラミン臭化物	エルペインコーワ	興和
ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニンS ユニペインL	第一三共ヘルスケア 小林薬品工業
ロキソプロフェンナトリウム水和物・酸化マグネシウム	ロキソニンS プラス	第一三共ヘルスケア
ロキソプロフェンナトリウム水和物・アシルイソプロピルアセチル尿素・無水カフェイン・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	ロキソニンS プレミアム	第一三共ヘルスケア

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

## 事例 一般用医薬品の相談（痔疾）

薬局に来局されたお客様。

おしりにいたみがあり、排便の時、出血もあります。  
痔だと思うのですが、何か良い薬はありませんか？

- 22歳、男性
- 競技：陸上
- 症状：お尻の痛み、出血

<薬局にある一般用医薬品>

ボラギノールA注入軟膏

ボラギノールM軟膏／M坐剤（天藤製薬）

プリザエース軟膏　プリザエース注入軟膏 T（大正製薬）

フロリードDクリーム.....	76
フロリードゲル.....	69, 81

## ハ

バイスン.....	66
パオン錠.....	49, 80
ベクロメタゾンプロピオン酸エステル... 40, 53	
ベシカム.....	76
ベシケア.....	58
ベタヒスチンメシル酸塩.....	55
ベタメタゾン吉草酸エステル.....	76
ベタメタゾンジプロピオン酸エステル.....	76
ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エス テ ル.....	76
ベッセンH2.....	37
ベトネベート.....	76
ベナゼプリル塩酸塩.....	61
ベニジピン塩酸塩.....	60
ベネキサート塩酸塩ベータデクス.....	56, 81
ヘパリン類似物質.....	45, 77
ベピオゲル.....	76

## ほ

ホウ酸.....	74
ポグリボース.....	66
ポジナールM錠.....	39
ホスホマイシンカルシウム水和物.....	68
ホスミン錠・ドライシロップ.....	68
ポビドンヨード.....	43, 44, 75, 77, 79
ホモクロルシクリジン塩酸塩.....	54, 82
ホモクロルシクリジン塩酸塩錠.....	54, 82
ポラキス錠.....	58
ポラギノールM坐剤.....	42
ポラギノールM軟膏.....	42
ポラザG.....	72
ポラプレジンク.....	56
ポララミン錠・散・シロップ・ドライシロップ .....	54, 82
ポリカルポフィルカルシウム.....	58
ポリパーゼ.....	57, 81
ポリフル.....	58
ポリミキシンB硫酸塩.....	46, 75
ポルタレン.....	49, 76, 80

## (14) 痔疾用薬

### (注意)

- 多くの痔疾用の坐薬・軟膏には、血管収縮剤や糖質コルチコイドなどの競技会（時）禁止物質が含まれている。（WADA 禁止表 S6. 興奮薬、S9. 糖質コルチコイド）

→糖質コルチコイドの注射使用、経口使用〔口腔粘膜（口腔内（頬）、歯肉内、舌下等）を含む〕、経直腸使用はすべて禁止される。その他の投与経路（吸入、局所投与を含む：歯根管内、皮膚、鼻腔内、眼（目薬）、耳（外用）、肛門周囲）は、製造業者が承認を受けた用量および治療適応内で使用する場合は禁止されない。

→糖質コルチコイドを含む注入軟膏・坐剤などを直腸経路で使用することは禁止。

### <使用可能薬例>

成分名	代表的な販売名	販売会社名
リドカイン・グリチルレチン酸・アラントイン・トコフェロール酢酸エステル	ボラギノールM軟膏	天藤製薬
	ボラギノールM坐剤	天藤製薬
リドカイン・酸化亜鉛・クロルヘキシジン塩酸塩・アラントイン・グリチルレチン酸・トコフェロール酢酸エステル・l-メントール	レックH軟膏	湧永製薬
	レックH坐剤	湧永製薬

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

# 成分をチェック！！

ボラギノールA注入軟膏	プリザネース注入軟膏T
プレドニゾン酢酸エステル(S9)	ヒドロコルチゾン酢酸エステル(S9)
リドカイン	塩酸イミダゾールヒドロズリン(S6)
アラントイン	アラントイン
ビタミンE酢酸エステル (トコフェロール酢酸エステル)	アラントイン トコフェロール酢酸エステル
	クロルヘキシジン塩酸塩
	トメントール

S9.糖質コルチコイド S6.興奮薬イミダゾール誘導体の血管収縮剤  
は局所使用が認められているが経直腸使用は禁止

# 投与方法をチェック！！

プリザエース注入軟膏T	プリザエース軟膏
ヒドロコルチゾン酢酸エステル(S9)	ヒドロコルチゾン酢酸エステル(S9)
塩酸チロキシドゾリン(S9)	塩酸チロキシドゾリン(S6)
リドカイン	リドカイン
アラントイン	アラントイン
トコフェロール酢酸エステル	トコフェロール酢酸エステル
クロルヘキシジン塩酸塩	クロルヘキシジン塩酸塩
トメントール	トメントール
	クロルフェニル酢酸塩

S9.糖質コルチコイド S6.興奮薬イミダゾール誘導体の血管収縮剤は局所使用が認められているが経直腸使用は禁止

# 一般用医薬品はTUE申請できません！

自分で選択して使用する一般用医薬品（OTC医薬品）は医師の処方による医療用医薬品と違い、治療使用特例（TUE）は認められません。

意図しないドーピングにならないように、より注意して使用する必要があります。

## 事例 競技種目の確認

急に国スポに出場することになったアーチェリーの選手が慢性疾患（高血圧）で服用しているお薬について、アンチ・ドーピング規則違反にならないか尋ねてきました。

- ・ 55歳、男性
- ・ 競技：アーチェリー
- ・ 症状：高血圧
- ・ 内服薬：テノーミン錠50（アテノロール）

選手が禁止物質について尋ねてきたとき競技種目を確認するのはなぜでしょう？

「テノーミン」は掲載されていない。

デザレックス錠	
デソゲストレル	
デタントール	61
テトラサイクリン塩酸塩	67, 75, 79, 81
デトルシトールカプセル	58
テネリア錠	66
テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物	66
デパケン	64
デパス	62, 82
テプレノン	56
デプロメール錠	63
デメチルクロルテトラサイクリン塩酸塩	67
テモカプリル塩酸塩	60
デュアック配合ゲル	76
デュファストン錠	71
デュラグルチド	66
デュロキセチン塩酸塩	63
デラプリル塩酸塩	60
テラマイシン軟膏	75

「アテノロール」も掲載されていない。

あ

アイピーディ.....	54
アイリス CL-I ネオ.....	43
亜鉛華軟膏.....	77
アカルポース.....	66
アクアチム.....	75
アクアナチュラル便秘薬.....	38
アクトス.....	66
アクロマイシン.....	67, 79, 81
アクロマイシン軟膏.....	75

アタラックスP.....	54
アデカット錠.....	60
アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物....	55
アデホスコーク腸溶錠.....	55
アドエア.....	53
アドソルビン原末.....	58, 81
アドナ錠・散.....	83
アドフィードパップ.....	76
アトラント.....	76
アトルバスタチンカルシウム水和物.....	59
アドレナリン.....	79

# グローバルDROで調べてみると・・・

globalDRO アスリートの皆さん、自身の薬について確認を！

ホーム サーチ ヘルプ よくある質問と回答 (FAQS)

ユーザータイプ スポーツファーマシスト

競技 **アーチェリー**

購入国 日本

検索 テノーミン錠50

テノーミン錠50

JADA WEBサイト

JADA WEBサイト

スポーツファーマシスト

CONDITIONS &

JADA PLAY TRUE

Sports Pharmacist

画面は2024年8月のもの

## テノーミン錠50

### WADA禁止表国際基準のステータス

×  
競技会(時)  
禁止

×  
競技会外  
禁止

### 条件付き/警告



上記のステータスは、以下に記載される競技だけに当てはまります。検索した物質は、ベータ遮断薬であり、特定の競技において禁止されています。

-常に禁止される：アーチェリー、射撃、水中スポーツ

-競技会(時)に禁止される：自動車、ビリヤード、ダーツ、ゴルフ、ミニゴルフ、スキー(ジャンプ、フリースタイルエアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)

### WADAの分類

ベータ遮断薬 (P1)

### この製品に含まれる主成分のステータス

#### アテノロール [詳細](#)

×  
競技会(時)  
禁止

×  
競技会外  
禁止

### 検索詳細

参照番号  
04245556923

購入国  
日本

競技  
アーチェリー

検索日と時間  
Thu, 01 Aug 2024 05:58:43  
UTC



画面は2024年8月のもの

# 競技がゴルフだったら・・・？



global DRO あなたの薬は禁止されていますか？

ホーム サーチ ヘルプ よくあ

## 検索

ユーザータイプ 競技 購入国 検索

スポーツファーマシスト ▼ **ゴルフ** ▼ 日本 ▼ テノーミン錠50

結果: 1

**テノーミン錠50**

« 1 »

画面は2024年8月のもの

## テノーミン錠50

### WADA禁止表国際基準のステータス

<b>×</b> 競技会(時) 禁止	<b>✓</b> 競技会外 禁止されない
--------------------------	----------------------------

### 条件付き/警告



上記のステータスは、以下に記載される競技だけに当てはまります。検索した物質は、ベータ遮断薬であり、特定の競技において禁止されています。

-常に禁止される：アーチェリー、射撃、水中スポーツ

-競技会(時)に禁止される：自動車、ビリヤード、ダーツ、ゴルフ、ミニゴルフ、スキー(ジャンプ、フリースタイル エアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)



静脈内注入または静脈注射によって医薬品を投与する場合は、次の...にご注意ください：医薬品の物質自体が禁止されていない場合でも、12時間あたり100 mLを超える静脈内注入および/又は静脈注射は禁止方法です。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除きます。続きを読む。詳細。

### WADAの分類

ベータ遮断薬 (P1)

### この製品に含まれる主成分のステータス

#### アテノロール [詳細](#)

<b>×</b> 競技会(時) 禁止	<b>✓</b> 競技会外 禁止されない
--------------------------	----------------------------

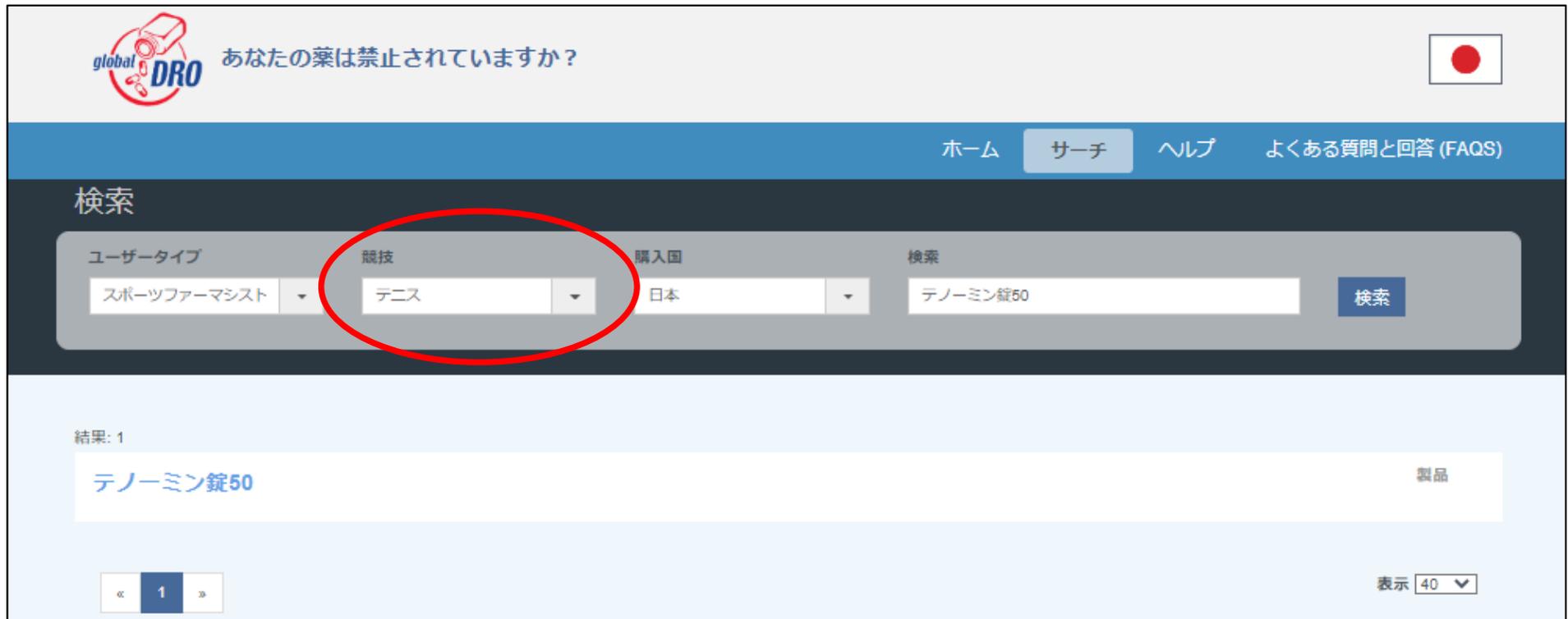
### 検索詳細

参照番号 042455556934	購入国 日本	競技 ゴルフ	検索日と時間 Thu, 01 Aug 2024 06:03:45 UTC
----------------------	-----------	-----------	--



画面は2024年8月のもの

# 競技がテニスだったら・・・？



global DRO あなたの薬は禁止されていますか？ 

ホーム サーチ ヘルプ よくある質問と回答 (FAQS)

検索

ユーザータイプ スポーツファーマシスト 競技 **テニス** 購入国 日本 検索 テノーミン錠50 検索

結果: 1

テノーミン錠50 製品

表示 40

画面は2024年8月のもの

## テノーミン錠50

### WADA禁止表国際基準のステータス

✓ 競技会(時) 禁止されない	✓ 競技会外 禁止されない
-----------------------	---------------------

### 条件付き/警告



上記のステータスは、以下に記載される競技だけに当てはまります。検索した物質は、ベータ遮断薬であり、特定の競技において禁止されています。

-常に禁止される：アーチェリー、射撃、水中スポーツ

-競技会(時)に禁止される：自動車、ビリヤード、ダーツ、ゴルフ、ミニゴルフ、スキー(ジャンプ、フリースタイル エアリアル/ハーフパイプ)、スノーボード(ハーフパイプ/ビッグエアー)



静脈内注入または静脈注射によって医薬品を投与する場合は、次の...にご注意ください：医薬品の物質自体が禁止されていない場合でも、12時間あたり100 mLを超える静脈内注入および/又は静脈注射は禁止方法です。但し、入院設備を有する医療機関での治療およびその受診過程、外科手術、又は臨床検査のそれぞれの過程において正当に受ける場合は除きます。続きを読む。詳細。

### WADAの分類

ベータ遮断薬 (P1)

### この製品に含まれる主成分のステータス

#### アテノロール [詳細](#)

✓ 競技会(時) 禁止されない	✓ 競技会外 禁止されない
-----------------------	---------------------

### 検索詳細

参照番号  
042455556939

購入国  
日本

競技  
テニス

検索日と時間  
Thu, 01 Aug 2024 06:06:37  
UTC



画面は2024年8月のもの

# 特定競技において禁止される物質

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において競技会（時）に限って禁止される。指示がある場合は競技会外においても禁止される。（\*）

- アーチェリー（世界アーチェリー連盟：WA）\*
- 自動車（国際自動車連盟：FIA）
- ビリヤード（すべての種目）（世界ビリヤード・スポーツ連合：WCBS）
- ダーツ（世界ダーツ連盟：WDF）
- ゴルフ（国際ゴルフ連盟：IGF）
- ミニゴルフ（世界ミニゴルフ連盟：WMF）
- 射撃（国際射撃連盟：ISSF、国際パラリンピック委員会：IPC）\*
- 水中スポーツ（世界水中連盟：CMAS）\*ーフリーダイビング、スピアフィッシング、ターゲットシューティングのすべての種目

世界アンチ・ドーピング規程2025年禁止表国際基準より

# ベータ遮断薬の禁止成分

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない。

成分名	
アセブトロール	レボブノロール
アルプレノロール	メチプラノロール
アテノロール	メトプロロール
ベタキソロール	ナドロール
ビソプロロール	ネビボロール
ブノロール	オクスプレノロール
カルテオロール	ピンドロール
カルベジロール	プロプラノロール
セリプロロール	ソタロール
エスモロール	チモロール
ラベタロール	

※注：レボブノロールはブノロールの光学異性体の一方であり WADA 禁止表からは削除されていますが、本邦にはレボブノロール製剤が存在するため、削除していません。

## 【禁止される理由】

- ・ 静穏作用のため選手の不安解消や「あがり」の防止、また、心拍数と血圧の低下作用で心身の動揺を少なくするため禁止。

画像は「薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブック」2025年版

# 監視プログラムとは

禁止表に掲載されてはいないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質。

以下の物質が2025年監視プログラムに掲載される：

## 1. 蛋白同化薬

競技会（時）および競技会外：エクジステロン

## 2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

競技会（時）および競技会外：18歳未満の女性におけるゴナドトロピン放出ホルモン（GnRH）アゴニスト

## 3. ハイポキセン（ポリヒドロキシフェニレン チオ硫酸ナトリウム）

競技会（時）および競技会外

## 4. 興奮薬

競技会（時）のみ：ブプロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピプラドロール、シネフリン

## 5. 麻薬

競技会（時）のみ：コデイン、デルモルフィン（および類似物質）、ジヒドロコデイン、ヒドロコドン、タペンタドール

競技会外：フェンタニル、トラマドール

## 6. セマグルチド

競技会（時）および競技会外

記載は2025年の禁止表に基づくもの

# 監視プログラムとは

Q. 監視プログラムの物質は禁止されないのですか？

A. 当該年においては禁止されません。しかし、メルドニウムのように、2015年は監視プログラムだった物質が、2016年に禁止物質となったため違反となった事例もあるので、注意してください。

Q. 蛋白同化薬のエクジステロンとは何ですか？

A. エクジステロイドの1つで、変態ホルモン、脱皮ホルモンとして知られています。また、ほうれん草などにも少量含まれ、大量生産によりサプリメントとして流通しています。

Q. セマグルチドが監視される理由は何ですか？

A. GLP-1アナログのセマグルチドを、スポーツにおける有病率と使用パターンを調べるため追加しています。なお、GLP-1アナログは、2011年7月25日から2012年10月12日の間、禁止物質に該当していたため、今後の取り扱いに注意してください。

記載は2025年の禁止表に基づくもの